

【参考資料】 平成21年度 実績報告(円原森林づくりプロジェクト共同体)

作成日:平成22年4月30日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	200ha	137ha	69%	H22計画:100ha	人工林:施業同意レベル 天然林:長期受委託レベル
いつ	9月~3月	9月~3月		年間を通じて森林所有者に対する働きかけを行うが、間伐等本格施業前の春~夏を強化期間とする。森林組合職員及び森林組合任命の森林整備普及員による森林所有者への働きかけを強化する。組合広報誌や総代会資料に掲載してプロジェクトのPRを行う。個別訪問以外に現地説明会を開催して施業集約化を推進する。	
誰が	施業集約化担当: 大西一暢(森林組合)	施業集約化担当: 長屋敏夫(森林組合)			
どういつ方法で	広報誌への掲載 個別訪問 現地説明会	広報誌への掲載 個別訪問 現地説明会			

植栽	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	2ha	0ha	-	H22計画:2ha	
いつ	10月、3月	10月、3月		適期に植え付けを行う。 岐阜中央森林組合 環境林は地域に自生する広葉樹を植栽し、針広混交林化を図る。生産林は伐採跡地にスギ・ヒノキを植栽する。	
誰が	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)			
どういつ方法で	環境林は広葉樹、 生産林はスギ・ヒノキを植栽	環境林は広葉樹、 生産林はスギ・ヒノキを植栽			

下刈・除伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	-	2ha	-	H22計画:2ha	
いつ	7~9月	7~9月		下刈は夏期、除伐は適期に行う。 岐阜中央森林組合 下刈、雪止しは植栽の年から5年間毎年実施する。	
誰が	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)			
どういつ方法で	適期に実施し植栽木の成長を促進	適期に実施し植栽木の成長を促進			

切捨間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	5ha	13ha	260%	H22計画:5ha	
いつ	9月~3月	9月~3月		年間を通じて切捨間伐を行う。 岐阜中央森林組合 若齢林分の生長を促進するため、保育間伐を積極的に行う。	
誰が	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)			
どういつ方法で	既設市道等へ搬出できない箇所を切捨間伐	既設市道等へ搬出できない箇所を切捨間伐			

利用間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	21ha	4ha	19%	H22計画:34ha	
いつ	9月~3月	9月~3月		できる限り年間を通じて素材生産を行う。 株式会社遠藤造林 新規開設した作業道を積極的に活用して利用間伐を行う。	
誰が	素材生産・流通担当: 遠藤雅樹(株) 遠藤造林	素材生産・流通担当: 遠藤雅樹(株) 遠藤造林			
どういつ方法で	既設市道等へ搬出できる箇所は利用間伐	既設市道等へ搬出できる箇所は利用間伐			

主伐(択伐)	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	-	0ha	-	H22計画:-	
いつ	10月、3月	10月、3月		適期に伐採を行う。 株式会社遠藤造林 森林所有者に対し施業収支を明らかにした森林施業プランを提案し、施業集約化を推進する。	
誰が	素材生産・流通担当: 遠藤雅樹(株) 遠藤造林	素材生産・流通担当: 遠藤雅樹(株) 遠藤造林			
どういつ方法で	機能増進保育 長期育成循環施業	機能増進保育 長期育成循環施業			

作業道開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	W=3.0m、L=1,200m	W=3.0m、L=885m	74%	H22計画:3,000m	開設コスト:7,898円/m
いつ	9月~3月	9月~3月		梅雨、降雪期間を除き、できる限り年間を通じて開設を行う。	
誰が	路網整備担当: 三島満康(株遠藤造林)	路網整備担当: 三島満康(株遠藤造林)		株式会社遠藤造林	
どういつ方法で	設計:森林組合、 施工・管理:(株遠藤造林)	設計:森林組合、 施工・管理:(株遠藤造林)		路網整備と高性能林業機械を組み合わせた素材生産の低コスト化を実現するため、作業道を先行して開設する。	

素材生産		生産性の向上		内容	
新規構築作業システム(機械の組合せ、種類・規格・台数)				チェーンソー(伐倒・造材)→グラブプル0.25(積込)→2tトラック(小運搬)→8tトラック(外注)	
素材生産チームの人員数(人)		実施前 → 実施後		1チーム(3人/班)	1チーム(3人/班)
実稼働日数(日)		(H20)	(H21)	280	28
素材生産性(m ³ /人・日)				4.00	4.10
素材生産費(円/m ³)		H21計画(実績)		車両系:10,300(10,500)円/m ³	架線系:13,580(10,500)円/m ³
その他		降雪と春の長雨で稼働日数が少なく生産性を検証できるだけのデータを得られなかった。			
年間素材生産量	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
モデル団地内	1,400m ³	345m ³	25%	H22計画:2,400m ³	
モデル団地外	—	—	—		
合計	1,400m ³	345m ³	25%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み			
計画	実績	達成度検証方法	今後の対応
プロジェクトの円滑な実施(共同企業体間で協定締結、運営委員会の組織、開催(年3回程度))	共同企業体間で協定締結 運営委員会等の開催(3回)	運営委員会等の開催(回数)	プロジェクトの進捗状況や問題点等を話し合う運営委員会等を定期的に開催する。
作業道や作業システムの現地研修及び検討会の開催(2年目と5年目に開催)	開催実績なし	開催実績(回数)	2年目と5年目に開催予定
作業効率のデータを継続的に取り、技術力、効率性の検証を行う。	降雪と春の長雨で稼働日数が少なく、検証できるだけのデータを得られなかった。	素材生産性(m ³ /人・日)	事業計画書に基づき、生産性の向上に努める。
作業道開設に伴う河川の濁度発生に対応するため、濁度調査を行う。	調査実績なし	濁度調査結果	森林研究所と連携して調査を行う。
プロジェクトの組合員、一般市民に対する周知	・森林組合広報誌への掲載 ・中日新聞に記事掲載 ・山県市有線テレビで林業特集番組を制作し、森プロのPRを行った。 組合員への個別聞き取りで森プロの周知が図られていることを確認できた。	総会時に組合員へ個別聞き取り等(回数)	総会資料への掲載やホームページを作成して、引き続き周知を行う。
森プロスタッフの技術向上を図るための研修会の開催、他の研修会への参加	岐阜農林事務所主催の作業道研修会に参加。(2回)	研修開催実績(開催回数) 研修参加実績(参加回数)	研修会の開催及び他の研修会へ参加して技術向上に努める。
未整備森林の整備	未整備人工林の間伐(9ha)	未整備人工林の間伐面積	未整備人工林の間伐を行い、胸高直径や下層植生の回復状況の現地調査を行う。